

生きた証：丸山多嘉男さんと語るつどい

－ハンセン病問題と共に歩む－

ハンセン病問題の「本当のことを知ってほしい」。

丸山多嘉男さんが、2012年3月9日、86才で亡くなりました。

「まだ、みんなに本当のことを言いきってねえんだ。あと、もう少し生きたい！」との願いはかないませんでした。丸山さんと出会ってきた私たちが、その願いの何を引き継ぎ、思いを繋げていかなければならないか。一緒に考えてみませんか。



ふるさとからふるさとへ思いを繋ぐ

日時 2012年7月28日(土)

第1部 14:00～16:30

第2部 17:00～

場所 本願寺長野別院
長野市西後町1653

会場案内



第1部 14:00～16:30

参加費500円

丸山さん遺稿冊子当日販売500円

1. 「ふるさとに道を紡ぐ」 丸山さん記録映像上映
2. 丸山さんを語る－出会い、思い、メッセージ
栗生楽泉園入所者、職員、ふるさとから、友人等
親族から
3. 「伯父 丸山多嘉男は…」
黒坂愛衣さん
4. 「ききとり調査から」
(東京外語大非常勤講師、埼玉大福岡保則教授と共著で『栗生楽泉園入所者証言集』を発刊)
5. 講演「求めてきたもの、そして今」 訓覇 浩さん (ハンセン病市民学会共同代表)

第2部 交流会 17:00～

参加費2,000円

参加できる人数に限りがございますので、事前に参加申し込みをお願いいたします。

◆問い合わせ◆ NPO法人 人権センターながの 長野市若里1-19-5 長野市中央隣保館2F
TEL(026)225-5045 FAX(026)227-0212
E-MAIL: jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp http://www12.ocn.ne.jp/~jkn-ngn/

主催：NPO法人 人権センターながの 共催：ハンセン病問題に関わる長野県民の会